

Y M F G 未来共創ファンド

愛称：ハピネス

追加型投信／国内／株式

信託期間：2019年11月22日 から 2029年10月23日 まで

決算日：毎年10月23日（休業日の場合翌営業日）

基準日：2020年10月30日

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

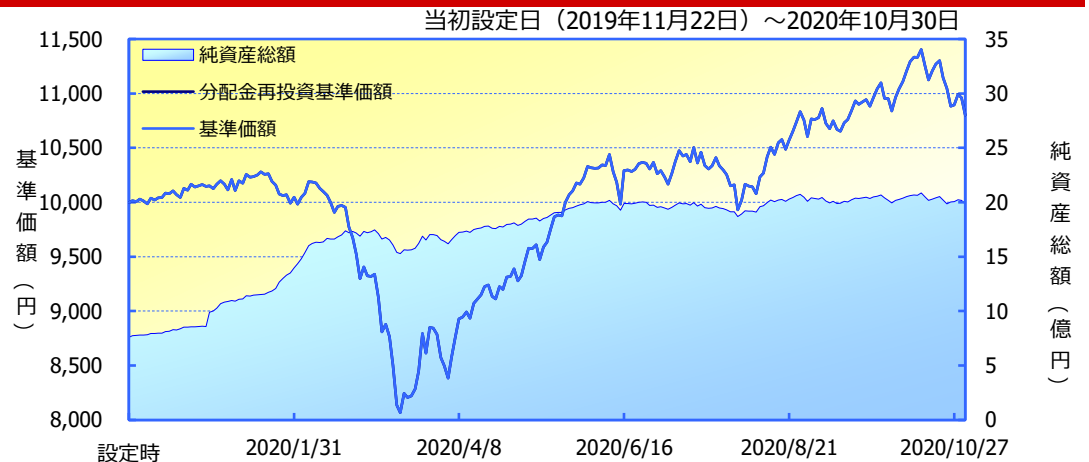
「基準価額・純資産の推移」

2020年10月30日現在

基準価額	10,800 円
純資産総額	19億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	-1.4 %
3か月間	+8.8 %
6か月間	+15.0 %
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
年初来	+6.2 %
設定来	+8.0 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（4ページ目の「ファンドの費用」をご覧ください）。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成

資産	銘柄数	比率
国内株式	34	79.3%
国内株式先物	---	---
不動産投資信託等	1	2.2%
コール・ローン、その他	---	18.5%
合計	35	100.0%

株式 業種別構成

東証33業種名	比率
サービス業	17.7%
化学	11.8%
建設業	9.1%
機械	8.7%
小売業	5.1%
陸運業	4.1%
精密機器	4.1%
ゴム製品	3.9%
輸送用機器	3.6%
その他	11.2%

株式 市場別構成

市場	銘柄数	比率
東証 1部	27	63.3%
東証 2部	4	5.9%
ジャスダック	1	6.0%
マザーズ	2	4.1%
その他	---	---

カテゴリ別構成

カテゴリ	銘柄数	比率
グローバル (G)	17	40.8%
ローカル (L)	12	26.9%
イノベーション (I)	6	13.8%

組入上位10銘柄

銘柄名	東証33業種名	比率
ウエストホールディングス	建設業	6.0%
メディア	サービス業	5.1%
テルモ	精密機器	4.1%
カクコム	サービス業	4.0%
ユーピーアール	サービス業	4.0%
ディスコ	機械	4.0%
東ソー	化学	3.7%
ユニ・チャーム	化学	3.6%
シマノ	輸送用機器	3.6%
エフピコ	化学	3.3%

※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。

※カテゴリ分類は、ワイエムアセットマネジメントが考えるものです。

「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)	
決算期 (年/月)	分配金
第1期 (20/10)	0円

投資環境

国内株式市場は下落しました。月初は、トランプ米大統領が新型コロナウイルスに感染したものの早期に退院したことが好感され上昇しました。しかし、米国の追加経済対策法案の成立が大統領選挙後になる見込みとなったこと、欧米で新型コロナウイルスの感染再拡大が目立つようになったことに加え、下旬に欧州において行動制限措置の再導入が広がり欧州経済への悪影響が懸念されたことから、月間では株価は下落となりました。

運用経過

引き続き、投資候補銘柄（山口県・広島県・福岡県の持続的な発展に寄与すると考えられる企業）の中から、業績動向やバリュエーション、企業の持つ競争力等を踏まえて慎重に組入銘柄を選定しています。10月は新たに2銘柄を組み入れ、1銘柄の売却を行いました。月末時点の組入銘柄数は35銘柄、組入比率は純資産総額に対し81.5%となりました。

業種別の構成比は、「サービス業」が純資産総額の17.7%（株式ポートフォリオの22.3%）と最も比率が高く、「化学」、「建設業」と続いています。10月は「ウエストホールディングス」や「シマノ」など、市場全体が下落する中で反発する銘柄もあったものの、全体としては下落した銘柄が多く、株式市場全体の下落に伴ってファンド基準価額も月間で下落となりました。

今後の運用方針

国内株式市場は一進一退の展開を想定しています。11月初旬に米国で大統領選挙が行われました。今後の各陣営の経済・財政政策には、プラス材料・マイナス材料ともにあり、方向感が定まりづらい相場環境が続くとみています。

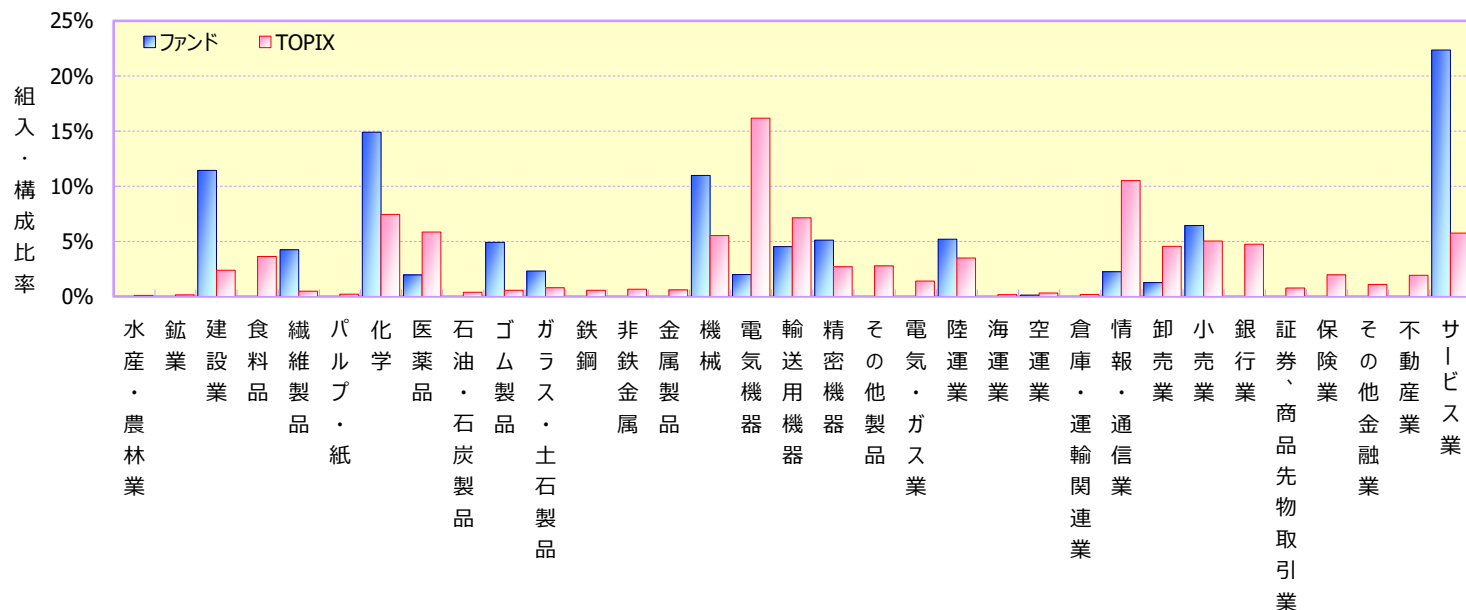
国内経済は緩やかながら回復基調にあり、10月下旬から本格化した7-9月期決算発表では、3割超の企業が今期見通しを上方修正するなど、企業業績は最悪期を脱しつつあると考えられます。

こういった環境のもと、直近では出遅れの続いてきた景気敏感株を中心とする割安株が反発する動きが出てきています。割安株は株価見直しの余地が大きく、投資妙味が大きいと考えられるものもありますが、相場全体としてこのような動きが本格化するかは、今後の個別企業の業績の回復度合い、また外部環境に大きく左右されることが考えられるため、動向を注視しつつ銘柄選別を進めてまいります。

銘柄選別が重要な局面が続くと予想されますが、引き続き、投資候補銘柄の中から、中長期的な成長が期待される銘柄の調査・選別を行っていく方針です。

株式ポートフォリオの業種別構成

※比率は、株式ポートフォリオに対するものです。



	銘柄名（銘柄コード）		概 要
	業 種 組入比率	市 場 カテゴリー	
1	ウエストホールディングス（1407）		ウエストホールディングスはグループ会社の経営管理を行う持株会社。子会社ではメガソーラー販売などの再生可能エネルギー事業や太陽光発電所の保守管理等を手掛けている。広島市で創業。SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みとして広島市楠木町で食事つきの無料学習会「子供未来応援学習教室」を毎週開催。
	建設業	ジャスダック	
	6.0%	ローカル	
2	メドピア（6095）		メドピアは医師向けソーシャル・サービスを提供。主に「医師集合知サービス」および「医師求人情報サービス」により、医療現場における医師からの情報共有、分析、治療の質の向上を円滑に行うためのサイト運営を行う。
	サービス業	東証マザーズ	
	5.1%	イノベーション	
3	テルモ（4543）		テルモは医薬品及び医療用機器メーカー。医薬品以外の製品には、主に栄養食品、輸血器具、使い捨て医療器具、人工臓器、電子体温計などがある。中核製品であるカテーテルは世界的に需要が拡大しており、生産体制の強化に向け2011年12月に設立されたのがテルモ山口（山口県山口市）。国内では約30年ぶりとなる生産拠点。
	精密機器	東証1部	
	4.1%	グローバル	
4	カカクコム（2371）		カカクコムは、インターネットを通じて価格比較サービスおよび商品情報を提供。主要なサービスは、購買支援サイト「価格.com」やレストラン検索・予約サイト「食べログ」など。
	サービス業	東証1部	
	4.0%	イノベーション	
5	ユーピーアール（7065）		ユーピーアールはリース会社。パレット、物流機器などをリース、レンタルする。車両ソリューション開発、貨物追跡、カーシェアリング、その他事業も展開。本社は山口県宇部市。
	サービス業	東証2部	
	4.0%	ローカル	
6	ディスコ（6146）		ディスコは研削切断装置・精密加工機械メーカー。同社の製品はパソコン、デジタルカメラ、ビデオゲーム、デジタル多用途ディスク（DVD）などの製造を行う 半導体・電子業界および建設業界にて使用される。また、産業用ダイヤモンド工具の製造・販売、精密加工部品などの製造・販売を営んでいる。広島県呉市で創業。
	機械	東証1部	
	4.0%	グローバル	
7	東ソー（4042）		東ソーは石油化学製品等を製造する総合化学メーカー。エスカレーターの手すりやブランドバッグなど身の周りのものの素材となる塩化ビニル樹脂などを製造。同社最大の生産拠点は同社発祥の地でもある山口県周南市にあり、その敷地面積は東京ドーム約65個分に相当。
	化学	東証1部	
	3.7%	グローバル	
8	ユニ・チャーム（8113）		ユニ・チャームは生理用品やベビー用品などの日用品メーカー。主製品は幼児・大人用紙おむつ、家庭用クリーニングシート、化粧品用パフ、ウェットティッシュなど。また、子会社にてペットフード、ペットイレタリー製品の製造・販売を行う。2019年5月から子会社ユニ・チャームプロダクツの九州工場（福岡県荏田町）が26年ぶりの新工場として稼働開始。
	化学	東証1部	
	3.6%	グローバル	
9	シマノ（7309）		シマノは世界首位の自転車部品メーカー。竿やリール、ルアーなどの釣具事業も展開。主にアジア、ヨーロッパ、米国に製品を輸出している。下関工場（山口県下関市）は1970年から稼働。2016年にIoT化を担った新工場が完成し、現在は自転車変速機とブレーキ装置を製造。
	輸送用機器	東証1部	
	3.6%	グローバル	
10	エフピコ（7947）		エフピコは発泡ポリスチレンなどの合成樹脂製食品容器メーカー。主製品はトレイや弁当箱など多種多様の食品容器など。また、包装資材や包装機械などの販売も行う。リサイクルや自社流通網の整備にも注力。本社は広島県福山市。
	化学	東証1部	
	3.3%	ローカル	

※業種は東証33分類をもとに分類しています。

※組入比率は純資産総額に対するものです。

※上記は個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。

※また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行なわれない場合があります。

「ファンドの目的・特色」

ファンドの目的

- わが国の株式等の中から、未来共創企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。

ファンドの特色

1. 未来共創企業の株式等に投資します。
※株式等にはリート（不動産投資信託）を含みます。
 - ◆ 未来共創企業とは、山口フィナンシャルグループの地盤である山口県、広島県、福岡県の持続的な発展に寄与すると考えられる企業のことをいいます。
 - ◆ 投資候補銘柄の中から、成長性やバリュエーションを考慮し、投資魅力の高い銘柄を選定します。
 - ◆ 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。
 - ◆ 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行います。
2. 毎年10月23日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
（分配方針）
 - ◆ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
 - ◆ 原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
 - 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
 - ファンドの基準価額は変動します。投資元本、利回りが保証されているものではありません。
 - ◆ 大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1.の運用が行なわれないことがあります。

「投資リスク」

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、中小型株式への投資リスク、リートの価格変動）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

「ファンドの費用」

お客様が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ＜上限＞2.2%（税抜2.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
お客様が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率1.100% （税抜1.000%）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了の時に信託財産中から支弁します。
その他費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合せください。

※手数料等の合計金額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

「当資料のお取り扱いにおけるご注意」

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにワイエムアセットマネジメント株式会社により作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ ワイエムアセットマネジメント株式会社

083-223-7124（営業日の9:00～17:00）

当社ホームページ

▶ <http://www.ymam.co.jp/>

「販売会社」

販売会社（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第117号	○	○	
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第12号	○	○	
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第6号	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○		

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。